

家畜衛生情報

日本脳炎の予防接種のシーズンです

特に、初めて夏を迎える繁殖候補豚は5月中に完了しましょう

日本脳炎は、コガタアカイエカが媒介し、免疫のない妊娠豚が感染すると死産や黒子等の異常分娩を起こします。種雄豚の場合は、精巣炎を起こし不妊の原因にもなります。

* 予防するために

蚊の活動によってウイルスが伝播する時期の1ヶ月前（3～5月）にワクチン接種を済ませておきましょう。日本脳炎以外にも異常産を起こす疾病には豚パルボウイルス感染症、ゲタウイルス感染症などがあり、混合ワクチンも市販されています。

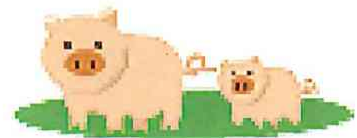
* ワクチンの使用方法

ワクチン名	ワクチンの使用方法
日本脳炎生ワクチン	繁殖豚の皮下に1～2回（4週間隔）接種する。 ※初めて夏を迎える繁殖豚は、2回接種が望ましい。
混合生ワクチン （日脳・パルボ・ゲタ）	種付け前の繁殖雌豚の皮下に1回接種する。

○ ワクチンの接種については、かかりつけの獣医師にご相談ください。

○ ワクチンを使用する場合は、メーカーによって使用方法が異なりますので取り扱い説明書に従い実施してください。

清潔な畜舎環境で蚊の発生を抑えましょう



滋賀県家畜保健衛生所

（本所）

近江八幡市西本郷町226-1

TEL: 0748-37-7511

FAX: 0748-37-4821

緊急携帯: 090-3613-7486

（北西部支所）

高島市今津町弘川249-1

TEL: 0740-22-2145

FAX: 0740-22-6681

緊急携帯: 080-6176-8052